

2012年3月9日

各位

会社名 住友金属鉱山株式会社
代表者名 代表取締役社長 家守 伸正
(コード番号 5713 東証第1部)
問合せ先 広報 IR 部 高橋 雅史
(TEL. 03-3436-7705)

会社名 住友商事株式会社
代表者名 取締役社長 加藤 進
(コード番号 8053 東証第1部)
問合せ先 広報部長 林 正俊
(TEL. 03-5166-3100)

チリ共和国 Sierra Gorda (シエラゴルダ) 銅鉱山開発プロジェクトに関わる
融資契約締結について

住友金属鉱山株式会社(本社:東京都港区 社長:家守伸正)、住友商事株式会社(本社:東京都中央区 社長:加藤進)(以下、両社を合わせて「住友」)およびカナダの鉱山会社 **Quadra FNX Mining Ltd.** (クアドラ FNX マイニング社、以下「**Quadra 社**」本社:カナダ バンクーバー市 社長: Paul Blythe (ポール・ブライス)) (注1) が出資する **Sierra Gorda S.C.M.** (シエラゴルダ鉱山会社、本社:チリ共和国サンチャゴ市、出資比率は住友金属鉱山 31.5%、住友商事 13.5%、**Quadra 社** 55%) は、昨日(3月8日)、シエラゴルダ銅鉱山開発プロジェクト(以下、「本プロジェクト」)の開発資金(総額約 30 億ドル)に関し、関係金融機関との間で総額 10 億ドルの融資契約を締結しました。

このたび締結された融資契約は、国際協力銀行(以下「**JBIC**」)および民間銀行4行(みずほコーポレート銀行、三井住友銀行、三菱東京 **UFJ** 銀行および住友信託銀行)によるプロジェクトファイナンス(注2)であり、独立行政法人日本貿易保険(以下「**NEXI**」)が民間4銀行に対し保険(注3)を付保します。フィナンシャルアドバイザーは三井住友銀行が務めました。

なお、これに加えて、住友は本プロジェクトのために民間銀行から総額約 3 億ドルの長期借入を計画しており、この借入に対しては独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「**JOGMEC**」)の保証(注4)の活用を協議しているところです。

本プロジェクトは、日本企業が 45%の権益を有する大型の銅・モリブデン鉱山開発であり、生産する銅精鉱の 50%が我が国に輸入されるなど国家的資源政策の観点からも重要性が高いことから、主要政府系機関である **JBIC**、**NEXI** および **JOGMEC** の機能をすべて活用して推進しようとするものです。

本プロジェクトおよびプロジェクトファイナンスの概要は別紙のとおりです。現地の開発は順調に進捗しており、計画通り 2014 年中の商業生産を予定しています。

(注1) Quadra 社は、近く KGHM International Ltd.に名称変更予定。

(注2) JBIC については、日本企業の海外M&Aや資源・エネルギーの確保等の促進を通じて円高に対応するための「円高対応緊急ファシリティ」を適用。

(注3) NEXI による、海外からの安定的な資源供給の確保のための「資源エネルギー総合保険」を適用。

(注4) JOGMEC による、海外での金属鉱物の採取等を対象とする「海外開発資金債務保証」を適用。

シエラゴルダ銅鉱山開発プロジェクトの概要

1. 鉱山の概要

- (1) 位置 : チリ共和国第Ⅱ州 アントファガスタ市の北東 140 k m
 (2) 可採鉱量 : 約 13 億トン (硫化鉱のみ)
 (3) 含有金属量 : 銅 5 百万トン、モリブデン 30 万トン、金 80 トン
 (4) 採掘・選鉱方法 : 露天掘り、浮遊選鉱
 (5) マインライフ : 20 年
 (6) 生産開始 : 2014 年予定
 (選鉱処理量 11 万トン/日、2017 年から同処理量 19 万トン/日に増産)
 (7) 平均年間生産量 : (含有金属量) 銅 22 万トン、モリブデン 1 万 1 千トン、金 2 トン
 (8) 生産物 : 銅精鉱 (平均年産 73 万トン)、モリブデン精鉱 (同 2 万 2 千トン)

2. 開発投資額

(単位:億米ドル)

用途		調達	
初期投資	29	出資	8
運転資金等	2	親子ローン	13
		(うち JOGMEC 保証利用)	3)
		プロジェクトファイナンス	10
合計	31	合計	31

3. プロジェクトファイナンスの概要

- (1) 金額 : 10 億ドル
- | | |
|---------------|----------|
| 国際協力銀行 (JBIC) | 700 百万ドル |
| みずほコーポレート銀行 | 85 百万ドル |
| 三井住友銀行 | 85 百万ドル |
| 三菱東京 UFJ 銀行 | 85 百万ドル |
| 住友信託銀行 | 45 百万ドル |

* 民間銀行融資に独立行政法人日本貿易保険 (NEXI) の資源エネルギー総合保険を付保

- (2) 用途 : 本プロジェクトの開発資金
 (3) 期間 : 9.5 年

4. プロジェクトの意義

住友は生産量の 50% (銅地金換算 11 万トン/年) の銅精鉱を引き取ることになりませんが、これは日本の銅精鉱総輸入量の約 9% に相当します。住友は、激しさを増す銅資源獲得競争の中で、本プロジェクトの推進を通じて日本の銅資源の確保に貢献したいと考えています。

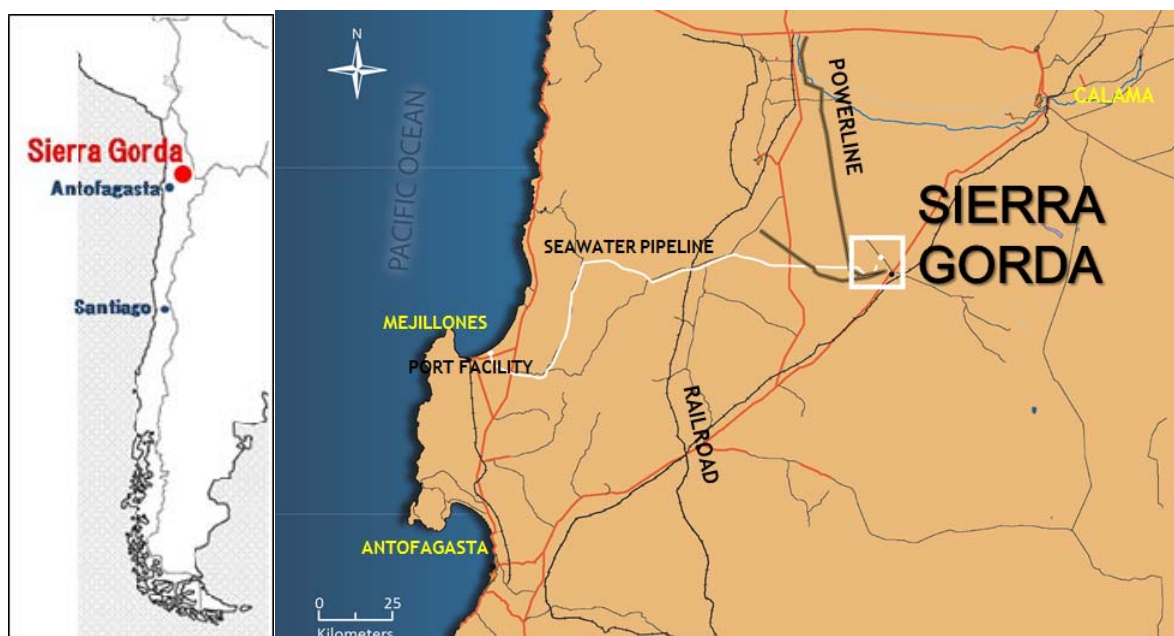
住友金属鉱山は、2009 年中期経営計画において資源事業を成長戦略の柱と位置づけ、資源権益の獲得に取り組んでまいりました。同計画では、長期ビジョンとして銅について権益シェア分生産量 30 万トン/年をめざしていますが、本プロジェクト稼働により目標達成に向け大きく前進することになります。

住友商事は、優良な非鉄金属鉱山への投資およびその運営への参画をコア・ビジネスの一つとして位置づけています。本プロジェクトの推進を通じ、重点戦略商品の 1 つである銅の資産拡充を実現するとともに、中期経営計画 $f(x)$ の実現に向けて、確実な前進を続けていきます。

5. 現況写真



6. 位置図



以上